

平成21年12月  
市川市定例教育委員会会議録

市川市教育委員会

## 平成21年12月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 平成21年12月3日(木) 午後3時00分 開議
- 2 場 所 第5委員会室
- 3 日 程
  - 1 開会
  - 2 会期の決定
  - 3 議事日程の決定
  - 4 会議録署名委員の指名
  - 5 その他
    - (1) 市川スマイルプランについて
    - (2) 新型インフルエンザ対応について
    - (3) 平成21年度新成人の集いの開催内容について
    - (4) 自然博物館の臨時休館について
  - 6 閉 会
- 4 本日の会議に付した事件
  - 1 その他
    - (1) 市川スマイルプランについて
    - (2) 新型インフルエンザ対応について
    - (3) 平成21年度新成人の集いの開催内容について
    - (4) 自然博物館の臨時休館について
- 5 出席委員 宇田川 進  
吉岡 博之  
五十嵐 芙美子  
中村 ふじ江  
内田 茂男  
田中 庸恵
- 6 出席職員、職・氏名

教育次長	伊籾 恵津子	教育総務部長	原 健二
学校教育部長	山崎 繁	生涯学習部長	田口 修
教育総務部次長	栗原 久則	学校教育部次長	古山 弘志
生涯学習部次長	角来 富美枝	教育政策課長	山田 修一
人事福利担当室長	田米開 豊	就学支援課長	西村 享

教育施設課長	渡邊	靜男	義務教育課長	藤間	博之
指導課長	川口	知子	保健体育課長	押田	敏郎
教育センター所長	川添	茂	生涯学習振興課長	齋藤	忠昭
地域教育課長	浅岡	裕	青少年育成課長	曾根	洋次郎
公民館センター長	堀切	公雄	中央図書館長	露木	芳輝
考古博物館長	石毛	一成	自然博物館長	西	博孝

7 事務局職員、職・氏名

教育政策課	主 幹	山田	浩一
〃	主 幹	谷内	弘美
〃	主 任	堀	優子

○ 宇田川委員長

ただいまより、平成21年12月定例教育委員会を開会いたします。本日の会議は、委員の全員が出席しておりますので地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により成立いたしました。この定例会の会期は、市川市教育委員会会議規則第3条第2項の規定により、本日1日といたします。それでは、日程に従い議事を進めます。会議録署名委員の指名を行います。会議規則第39条の規定により、会議録署名委員は委員長、五十嵐委員、中村委員を指名いたします。続きまして、本日は議案及び報告はないことから、議事5その他に入ります。(1)市川スマイルプランについて説明してください。

○ 指導課長

前回、市川スマイルプランにつきましてたくさんのご質問、ご意見、ありがとうございました。課内でさらに検討いたしまして、リーフレットを直しました。お手元の資料をごらんください。まず、作成の対象として、「障害がある、あるいはあるかもしれない」としていた部分ですが、「発達に課題がある、あるいはあるかもしれない」という書き方に改めました。内容を充実させていくためには、保護者への啓発を図るとともに、学校側の支援体制を整え、教職員の意識をさらに高めていくことが必要であると考えております。そのためには、来年度以降も各学校での校内研修、コーディネーターや特別支援学級担当者の研修を計画的に進め、できることから進めていく予定でございます。その他の訂正したところでは、市川市の何かの計画という誤解を避けるために、表紙の「市川スマイルプラン」の上に「市川市の個別の教育支援計画」という文言をつけ加えました。中を開いていただきますと、支援機関についても触れてありましたが、子ども発達センター、保健センターを明記しました。裏表紙では、作成の流れについて、前は「市川スマイルプランを作っていきます」とあったところを、「お子さんのスマイルプランを作っていきます」と直しました。また、「担任だけでなく、複数の先生方で話し合いながら」の部分も、「担任だけでなく、コーディネーターやかわっている教職員で話し合いながら」と訂正するとともに、下にコーディネーターの役割について説明を加えました。また、本日の資料にはございませんが、ご指摘のありました様式一覧につきましても、作成者との関係を考え、表記を訂正いたしました。来年度から実施いたしますが、初めのうちは希望される保護者の方はそれほど多くないと思われませんが、スマイルプランを作成すると支援の方向性を確認することができ、子どもにとっていいことがあるとわかっていただければ作成を希望し、活用する方もふえていくと思われれます。行く行くは義務教育の期間だけではなく、乳幼児期から卒業後の就労までがつながるように、関係課と連携していきたいと考えております。以上でございます。

○ 五十嵐委員

コーディネーターの説明については、ちょっと硬い印象はありますが、これは公的用語なので、このまま余り崩さないほうが誤解を招かないのいいと思います。ただ、特別支援教育コーディネーターと入れたほうがいいのか、このままのコーディネーターという表記がいいのかという点が、読んでいて気になりました。

○ 指導課長

何のコーディネーターかわからないと思いますので、正式名称で入れていきたいと思います。ありがとうございます。

○ 五十嵐委員

それから、もう1つ、一番最初にある「みんなで一貫した支援をしていくために、作成するものです」というのはいいのですが、これは、子どもに対して必要な支援をしていくためのプランですよね。どの立場でここは書かれているのか、わかりにくいように思ったのですが。ここで言っているのは、個別指導計画そのものが一貫した支援をするということと、子どものニーズに応じて一貫した支援をするということの、両方言っているということですね。これで通じればかまいません。もう1つ、「かかわる」という言葉が結構使われているのですが、特別支援では結構「かかわる」と言うのですが、それは普通にわかりますか。1枚目に「等と心配されているお子さんに対して、学校が中心になり、かかわっている皆さん」、次の支援機関が、「お子さんに普段からかかわることのある方たちのことです」、最後に、「コーディネーターやかかわっている教職員」と3カ所「かかわる」と書いてあります。3つ「かかわる」でいいのかなと思いました。意図して書いたのかもしれませんが、やっている人たちは「かかわる」と言うけれど、それ以外の人はいまだに「かかわる」と言わないかもしれないなと思いました。

○ 生涯学習部次長

今、五十嵐委員のおっしゃったことで私の意見ですけれども、ここで特に強調したいのは、分断しない継続した支援という意味だと思われまますので、「一貫」でいいのかなと思いました。それと、「かかわる」は、日ごろ接していなくても、その子に関係したことのある方たちのことですので、この部分では、関係する意味で「かかわる」でよろしいかと思いますが、多いところでは、もう1回見直されてもいいかと思います。

○ 指導課長

全部で4回出てまいりますので、言葉の使い方についてはもう1度検討したいと思います。

○ 宇田川委員長

私もこれを見ていて、最初に「かかわっている皆さん」として、わざわざ括弧して書いてあるので、こういう方々を「かかわる皆さん」と言うという

読み方で読んできていました。丁寧に書かれているので、よくわかると思うのですが、もし検討されて、もっとわかりやすくなるようでしたら、訂正していただくなり、それは指導課にお任せしてよろしゅうございますか。

○ 他の委員

異議なし。

○ 宇田川委員長

次に(2)新型インフルエンザ対応について説明してください。

○ 保健体育課長

本日現在、幼稚園6園で8クラス、小学校23校で44の学級閉鎖、学年閉鎖は1学年、中学校におきましては、9校におきまして13学級の閉鎖措置、特別支援学校におきまして、小学部が閉鎖措置をとっております。先週の定点値でございますけれども、市川市におきましては19.5人と減少する傾向がありました。近隣市におきましては、船橋市が25、松戸市57.56、習志野市32.1等々となっております。県全体では35.99、大変高い数字が出ておりますが、本市におきましては、保護者、市民の皆さんのご協力で19人台でおさまっております。現在、新型インフルエンザワクチンの接種につきましては、インフルエンザ相談窓口を設定しまして、保健スポーツ部が中心となって対応しているところでございます。今後の対応につきましては、授業時数に非常に大きな影響を与えている学校もございます。加えて、それぞれの学級の中で半数以上が既に罹患して抗体を持った学級もございますので、今後2人以上出たからといって閉鎖をしても、その効果が得づらい状況もあるという一部の意見をいただいております。現在、再度の閉鎖の基準につきまして、医師会や保健所等、関係機関と相談しながら適切に対応してまいりたいと考えております。以上でございます。

○ 宇田川委員長

減少傾向に入っているのですか。

○ 保健体育課長

入っております。この先はまだ読み切れませんが、ここ2週は下がってきました。

○ 宇田川委員長

次に(3)平成21年度新成人の集いの開催内容について説明してください。

○ 生涯学習振興課長

資料の1ページから3ページをごらんください。初めに成人式の行事名ですが、「新成人の集い」ということで、開催日時は平成22年1月10日、日曜日です。時間は午前10時より受付を開始いたしまして、終了は12時30分を予定しております。場所は例年どおり市川市文化会館で実施いたします。今年度の新成人の対象者数は、平成21年11月5日現在で4,114名となっております。

す。前年よりも191名の減少となっております。次に、4の式典の企画運営に係る実行委員会の経過報告でございますが、新成人を含む実行委員は、10月より2名増となりまして13名となっております。決定した催事等につきましては、最初に式典の内容ですが、①1階の大ホールにおきまして、11時より開催いたします。10時より開場しまして受付を開始し、最初に式典オープニングセレモニーとして、チーバくんキャラバン隊によるダンス公演を行います。出演者の選定につきましては、実行委員会が、来年、千葉県で開催される国体のキャラクターであるチーバくんを知らないということもありまして、ぜひこの機会に新成人に知ってもらいたいという意見を尊重し、決定しております。これは3チーム、総勢50名から60名によります10分程度のステージとなります。続いて市長の挨拶、当時の中学校の校長先生の紹介、来賓の紹介を行いまして、その後、実行委員の企画映像を15分程度上映いたします。映像の内容は現在検討中です。上映終了後、実行委員の紹介と代表者の挨拶を行います。次に、サプライズ企画といたしまして、奥華子さんによる公演を行う予定であります。奥さんは船橋市出身のシンガーソングライターで、ことしの実行委員会で2番目に推薦のあった方です。当日の内容につきましては、現在、打ち合わせ中ですが、新成人に向けたお祝いのメッセージや歌などで約30分を予定しております。次に、集いの広場会場である2階の小ホールでは、式典ライブの中継を行います。実施の理由は資料の②のとおりで、大ホールに入れなかった人をそちらのほうに誘導いたします。③の地下1階ビデオレターは撮影が終了しております。対象の先生242名中、退職先生などを除く117名の先生にご出演をいただいております。4階の茶席体験・着付け直し会場は資料④のとおりでございます。(3)その他①の成人式参加者記念品につきましては、携帯用のステンレス製の箸であります。アルミケース入りで、市川シティの名を印字しております。定価といたしましては800円程度しますが、入札によって若干下がって373円となっております。次に、市川警察署の警備についてですが、この12月1日に市川警察署長に当日の警察職員の派遣依頼を行っております。私服警官が大ホールを中心に館内の警備を担当しまして、制服の警官がパトカーによる周辺のパトロールを実施するという形で協力が得られております。実際に派遣していただける人数につきましては、今後、協議となります。最後に③の来賓などへの案内状でございますけれども、資料のとおり案内状を送付しております。教育委員の皆様方には後ほどお届けしたいと思っております。以上でございます。

○ 宇田川委員長

次に(4)自然博物館の臨時休館について説明してください。

○ 自然博物館長

資料は4ページになります。当館は、12月8日より12月27日までの20日間、

臨時休館させていただきます。臨時休館の理由は、当館入り口の階段室天井部分のアスベストの除去工事及び収蔵資料の燻蒸等を行うためであります。あわせて、例年2月に行っております展示装置等のメンテナンスを繰り上げて実施することにいたしました。アスベストにつきましては、定期点検においては飛散は確認されておりましたが、博物館への入り口に当たるため、今回除去することとさせていただきます。なお、動物園など併設の施設は平常どおり開園しております。周知につきましては、各広報紙面のほか、ウェブサイト、掲示等で既に行っております。各学校には文書で既にお知らせしてあります。なお、年始は1月3日、日曜日を臨時開館とし、以後、平常どおり開館いたします。以上でございます。

○ 宇田川委員長

本日の議事は以上ですが、委員の皆様からは何かございますか。

○ 吉岡委員

先日の市長選のことですけれども、私はいちかわケーブルテレビを見ていたのですけれども、そのときにリリースされたビデオだと思えますけれども、高橋亮平候補者が、市川市は県下で教育水準が下から2番目だと言っていました。選挙で候補者が言うことですから、裏づけがなくては言えないことです。この辺のことが本当に事実なのかどうか。それから、もし事実でないとすれば、何らかの形でそのことを高橋亮平候補者に、どういう裏づけで言ったのかをきちんと聞くべきではないかと思えます。市民の方はあれを聞いていると、みんなそう思うってしまうわけで、もし事実でなかったら心外です。市民の方に要らない不安を与えていることになりますから、この辺のことをきちんとけじめをつけるのが筋ではないかと思っているのですけれども、いかがでしょうか。

○ 学校教育部長

所管をしております学校教育部からお答えさせていただきます。ただいま吉岡委員からご指摘のありました点でございますけれども、結論から先に申し上げますと、水準が2番目に低いとの演説の内容につきましては、誤りと判断をしております。水準が意味するところは不明ではありますが、一般的に考えますと学力の水準と考えられます。演説を聞いた市民の方、また、テレビ等を見られた市民の方も、恐らくは学力の水準と受けとめた方がほとんどではないかと思っております。誤りとする根拠でございますけれども、国はもちろんでございますけれども、千葉県におきましても全国学力・学習状況調査の結果につきましては、県内の市町村名を明らかにして、また、特定の市町村を取り上げて、その中の学校名等を挙げて数値の公表をするということはしておりません。千葉県の担当に確認いたしましたところ、序列化、過度の競争を招くことにつながる公表はしないということを改めて確認もしております。その際、担当者から、具体的な順位、また、数値に関して



説明はできないけれども、市川市を含む地区は県内でも学力が高い地域であると伺っております。数値が公表はされませんので、県の担当者の話からの推測ではございますが、水準の意味を全国学力・学習状況調査の数値結果に基づく学力と考えますと、2番目に低いということは誤りであると判断をしております。また、今後の対応でございますけれども、今回のことにつきましては、既に終わってはおりますけれども、市長選挙にかかわることから、直接の担当部署であります議会事務局及び選挙管理委員会にも確認の上、どのような対応をとることが適正、適切なのか、そのようなことを相談しつつ、こちらとして判断をしたいと考えております。また、その結果につきまして、改めてご報告申し上げたいと考えております。以上でございます。

○ 吉岡委員

通常、こういう場合、沈黙というのは認めるということですから、選挙とは全く無関係で、ああいう公的な場で演説で言っているということで、もしそれが事実無根のことであれば、沈黙していただけないのではないかと個人的に思います。ぜひともきちんと調べていただいて、場合によっては高橋亮平候補者に、どういう根拠で話したかというぐらいは聞いてもかまわないのではないかと思いますし、しかるべき対策をとっていただきたいと思えます。よろしくお願ひしたいと思えます。

○ 宇田川委員長

それでは、きちんとした対応をとっていただくということでよろしゅうございますでしょうか。

○ 学校教育部長

はい。

○ 宇田川委員長

ありがとうございます。この間、二俣へ行かれましたね。保護者との交流会は初めてやられたので、様子をお話しいただければと思います。

○ 中村委員

地域の自治会の方と保護者の方が実際に授業に入られて、算数の授業でしたけれども、丸つけを手伝うというものでした。プリントが配られ、できた子から丸をつけてもらって、終わったらまたプリントをこなすというような単純な作業のお手伝いに地域の方が入られていました。入られている方々もとても積極的に善意でやられていたので、すごくいい感じで進めていたなという印象です。

○ 教育次長

地域の方のお力を借りる。いろいろな人が学校の中に入ってきてくださっていて、本当だったら声をかけられずに、その1時間が終わってしまうという子どもたちも、たくさんの方たちが入ってくださるので、触れ合いという

意味で非常によかったなと思っています。教員と地域の保護者の方、あるいは地域の方との役割分担を、これからもっと工夫していったら、効果的な学習活動につながるかなという気がいたしました。いずれにしましても、ああいう形で地域の方たちがどんどん授業の中に入ってきてくださるとするのは、学校としてもありがたいことだと感じました。

○ 五十嵐委員

地域の方も、先生になるとどうしても子どもの学力の差が気になるとおっしゃっていたのですが、それは気にしないで、差があるのは当然だから、その辺は先生にある程度お任せしたほうがいいのではないですかというようなことはお伝えしました。何しろとても熱心です。それと、誇りを持ってボランティア活動をされているというのが、いいことだなと思いました。その辺の輪が各地で広がると、最初私たちがプライバシーの問題を危惧していたことが薄れていくのかなと思いました。

○ 宇田川委員長

ありがとうございました。やはり学校、家庭だけではなく地域を巻き込んだ教育に力を入れていこうということで、今までですと、学校の生徒との交流会は、ことしは相当やってきたのですけれども、今回の二俣でやった交流会は、保護者の方との交流をやりながらいろいろな意見交換するということだったので、またこういう機会をつくっていただければと思います。

○ 生涯学習部長

先ほどの新成人の集いの件ですが、お忙しい、また寒い中申しわけないのですけれど、教育委員の皆さんにはぜひご出席をいただきたいとお願いいたします。式典が1時間半ぐらいかかりますが、来賓の方のご紹介が昔から比べると短くなって12～13分ぐらいです。これはこれでいいのかもしれませんが、当日配布するしおりの中に出席される方のお名前が出ていますから、それにかえて、1人1人のお名前は場合によっては割愛するかなという気持ちが今時点ではございます。これについては、またいろいろな方とご相談しないといけない部分もあると思うのですが、そういうことも頭にあるということをお伝えしておきたいと思います。

○ 宇田川委員長

去年も来賓の方々の紹介については、ここで議論に出たことがありました。式典の中では、非常にスマートに紹介しているなど初めて出たときに感じました。しかし、中心は新成人の方々です。成人を迎えた方々がどう思うかが非常に大切なので、そちらを向いた目線で解決をしていただければと思います。ご検討をよろしくお願いいたします。

○ 吉岡委員

今の成人式のことですけれども、後で新成人の方のアンケートをとっているのですか。

○ 生涯学習振興課長

案内状は11月18日に各新成人に送付しまして、そのときにはがきの裏に、今回は初めて日曜日ですが、祝日開催がいいですか、日曜日開催がいいですかとか簡単なアンケートはとっています。受け付けのときに、それを回収するという形です。以前は、会場でも感想を求めるテーブルを設けて、回収の箱を設置したことはあるのですけれども、今でも2カ所ぐらいますけれども、全然入ってきません。アンケートにならないので、今は日曜開催するにはということで、前回から案内のはがきにしました。それでも書いてきてくれる方は3割ぐらいで、受付でも書いてもらいました。チェック方式なのでできるのですが、余りそれをやりますと、混雑して人が流れていかないというのがありますので、その範囲の中でという状況です。

○ 吉岡委員

今の生涯学習部長がおっしゃったことも、新成人の方がどう思うかということがあります。新成人の人は選挙権を持つわけですから、議員はどんな人かと知りたいというのだったらいいますが、多分そういう人は少ないだろうと思います。こちらからの判断で決めると差し支えがあるところもあるかもしれませんから、新成人のいろいろな意見も大切にして決めたらどうかなど思っています。

○ 宇田川委員長

ほかに何かございますか。

○ 他の委員

ございません。

○ 宇田川委員長

これもちまして、平成21年12月定例教育委員会を閉会いたします。

(午後 3 時43分閉会)

署名委員

委員長 宇田川 進

委員 五十嵐 美子

委員 中村 ふい江